



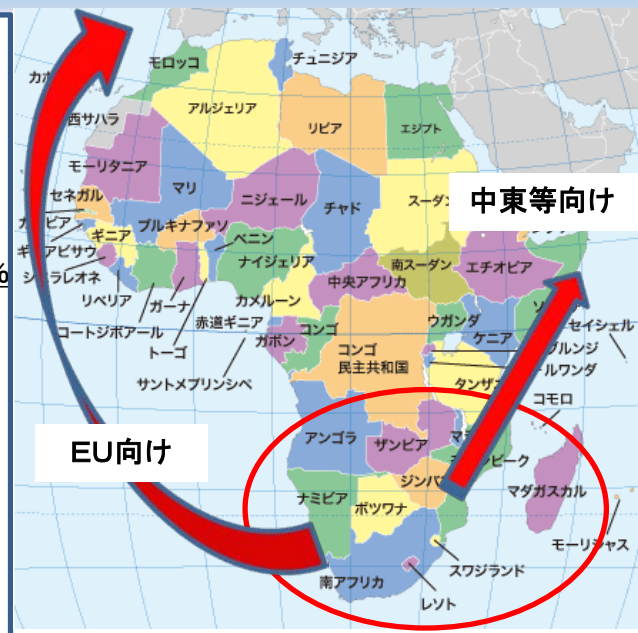
南アフリカ共和国における

資料 2 - 2

フードバリューチェーン(FVC)構築に向けて

➤ 南アフリカ共和国について

- ✓ 電力、道路、港湾等のインフラが整備。
- ✓ 都市部ではスーパー等のモダントレードの店も多く、コールドチェーンも一部整備されている。
- ✓ 南部アフリカ地域経済の中心。
 - ※ 南アの一人あたりGNI、実質GDP、実質GDP成長率は、7,190米ドル、313,466百万米ドル、1.9%。周辺国であるボツワナは7,730米ドル、14,205百万米ドル、5.9%。ナミビアは5,840米ドル、10,553百万米ドル、4.4%。ジンバブエは820米ドル、6,242百万米ドル、1.8%。モザンビークは590米ドル、11,257百万米ドル、7.1%（2013年、世銀資料）。
- ✓ 南部アフリカ地域(SADC(南部アフリカ開発共同体)15カ国)は、人口約2億7千3百万人の市場。
 - ※ 2010年時の15カ国の人口総計。うち南アの占める割合は約19%。(2012年、国連人口統計)
- ✓ 他のアフリカ諸国に比べ日本からの進出企業が多い。
 - ※ 南アへの進出企業数は、56社。(参考:アフリカへの進出企業は136社。(東洋経済 海外進出企業総覧2013))

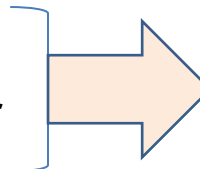


【官の取組み】南アにおけるFVC構築を官民連携で推進する必要性について一致。

(2014年6月に横山農林水産政務官とベキ・テレ南ア農水副大臣が南アにて会談。)

【GFVC】生産 → 加工 → 流通 → 消費

例) 果実(オレンジ等) → 缶詰、ドライフルーツ
野菜(日本産種子の野菜栽培) → 日本食普及
水産加工品(カニカマ等) → 食市場の開発



南ア国内消費。アフリカ周辺国、欧州、中東、インド向けの輸出の可能性を模索。



○基本データ

- ・人口 約5,145万人(2012国連)・面積 122万 km²(2012)(日本の約3.2倍)
- ・GDP 3,843億米ドル(2012世銀) ・一人あたりGNI 7,190米ドル(2013世銀)
- ・主要産業 農業、鉱業、工業 ・穀物自給率 101%(2009)
- ・主要貿易品目(2012年)

①輸出: 金、希金属、鉱物製品、化学製品、食品等

②輸入: 機械、自動車類、化学製品、科学機器等

- ・主要農産物貿易(上位5品目、2011年FAO統計、金額ベース)

①輸出: トウモロコシ(12.0%)、ワイン(11.2%)、オレンジ(8.8%)、ブドウ(6.4%)、リンゴ(4.3%)等

②輸入: 小麦(9.5%)、米(8.1%)、パーム油(6.5%)、大豆油(5.9%)、蒸留酒(5.8%)等

- ・政府要人: 元首 ジェイコブ・ズマ大統領、(農林水産大臣 センゼニ・ゾクワナ)
- (参考)SADC(南部アフリカ開発共同体)加盟国(計15カ国)

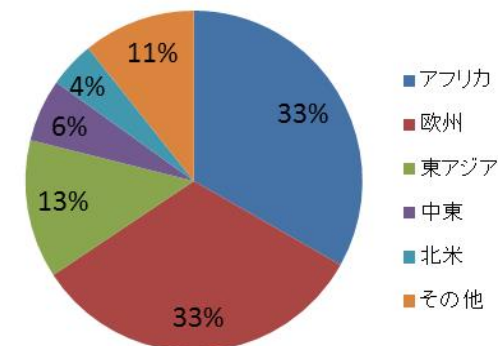
ザンビア、タンザニア、ボツワナ、モザンビーク、アンゴラ、レソト、マラウイ、スワジランド、ジンバブエ、ナミビア、南ア、モーリシャス、セーシェル、コンゴ民、マダガスカル

○農林水産業の概況

- ・アフリカ最南端に位置し、低地は海岸線のみで内陸の殆どが盾状台地。
- ・海岸地域は温暖湿潤気候で、ケープタウン周辺は地中海性気候、内陸部は、ステップ気候や砂漠気候。
- ・一年を通じて晴天の日が多く、海流と高度の関係で、北半球の同緯度の地域よりも涼しく乾燥。
- ・農用地面積が国土の約8割を占め、平均年間降水量が少ないという気候的条件から、耕作に適した農地は2割以下。
- ・主な農畜産物は、さとうきび、とうもろこし、小麦、じゃがいも、ぶどう、オレンジ、りんご、牛乳、鶏肉、牛肉、豚肉等。



○南ア農産物の輸出仕向け先



(出典: グローバルトレードアトラス)

農地の状況(2011年)

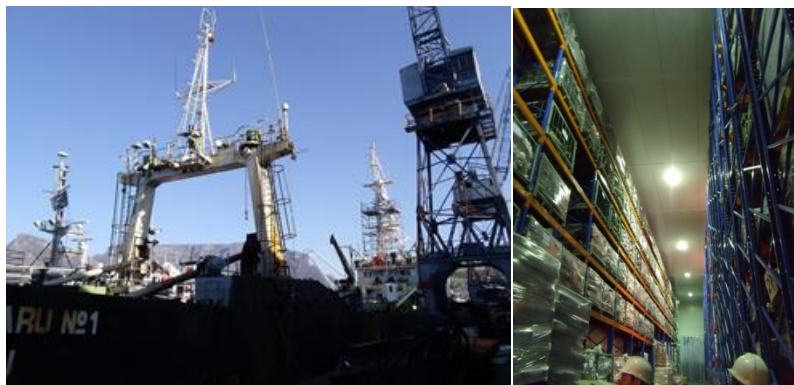
(単位: 万ha、%)

	南アフリカ		日 本	
	面 積	比 率	面 積	比 率
国 土 全 体	12,191	100.0	3,780	100.0
農 用 地	9,637	79.1	456	12.1
耕 地	1,203	9.9	425	11.2
永 年 作 物 他	41	0.3	31	0.8
永年採草・放牧地	8,393	68.8	-	-

資料: FAO統計

(参考) 南アフリカ共和国のイメージ

(写真は2014年6月の横山政務官南ア出張より)



△日系水産関連企業のドックと保冷倉庫



△ケープタウン市内のスーパー



△日系種苗メーカーのハウスや圃場



△ヨハネスブルグの製パンメーカー
(日本の機械を一部納品)



△ケープタウン市内



△プレトリア市内

2014 年 10 月
農林水産省国際部

海外事業展開に関するアンケート調査
～南アフリカ共和国を含む南部アフリカ地域～

本調査は、日本企業を対象とした、海外ビジネスの展開（南アフリカ共和国を含む南部アフリカ地域対象）に関するアンケート調査です。ご多忙の折とは存じますが、可能な範囲でのご協力を宜しくお願い申し上げます。貴社のご事情により回答が困難なもの、または不明なものがございましたら、省略して頂いても結構です。なお、特に南アフリカ共和国への関心が高いとご回答頂いた場合は、別途詳細についてヒアリングをお願いする場合がございますので御協力をお願い致します。

（ご回答は 10 月 24 日（金）までにお願いします。）

【ご回答者様】

会 社 名			
部 課 名		役 職	
氏 名		会 社 電話番号	
連絡先	(Mailアドレス) @		

※ 本アンケートの調査結果については、南アフリカ共和国における FVC 構築に向けての今後の取組み方針を検討する際に活用させて頂く予定です。

【アンケート回答送付先】 農林水産省 国際部 国際協力課 木村協力官宛

○Mail による場合、 「 gfvc_maff@nm.maff.go.jp 」

○Fax による場合、 「03-3502-8083」

【本アンケートの内容に関する問合せ先】

○農林水産省 大臣官房 国際部 国際協力課 木下補佐または木村協力官まで

○Tel : 03-3502-8111 (ex3511)

問1 FVC構築に関して、貴社にとって、南アフリカ共和国等の南部アフリカ地域への海外進出や事業拡大の関心はございますか。

☐1 関心あり / ☐2 関心なし

(以下、 (☒1 関心あり) と回答された方のみお答えください。)

問2 特に関心の高い国はどこですか。

該当する全てにチェックして下さい。

- ☐1 南アフリカ共和国、☐2 ナミビア、☐3 ボツワナ、☐4 ジンバブエ、
☐5 モザンビーク、☐6 マダガスカル、☐7 ザンビア、☐8 アンゴラ、
☐9 マラウイ、☐10 コンゴ民主共和国、☐11 タンザニア、
☐12 スワジランド、☐13 レソト、☐14 モーリシャス、☐15 セーシェル
☐16 その他 ()

問3 関心があるとした理由は何ですか。

該当する全てにチェックして下さい。

- ☐1 経済成長が期待できる、☐2 人口（市場）の成長が期待できる、
☐3 インフラ整備が充実、☐4 労働力や人材が豊富、
☐5 原材料の調達が可能、☐6 生産・輸出の基地としての利便性、
☐7 農業生産の潜在力が高い、☐8 その他 ()

御協力有り難うございました。